

## 平成 31 年度入学試験問題

## 数 学 (理, 医, 歯, 工学部)

## 注 意 事 項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は、全部で5ページある。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出ること。)
 

別に解答用紙がある。
- 3 解答はすべて、問題ごとに指定された解答用紙に記入すること。指定と異なる解答用紙に記入された解答は零点となる。
- 4 受験番号は、各解答用紙の指定された2箇所に必ず記入すること。
- 5 受験学部、学科、選抜方法により解答すべき問題(○印)、解答用紙の枚数及び解答時間は、下表のとおりである。

受験学部(学科, 選抜方法)	解答すべき問題(○印)					解答用紙の枚数	解答時間
	1	2	3	4	5		
理学部(選抜方法A)及び工学部	○	○	○	○	○	5枚	120分
理学部(選抜方法B, C)及び医学部(保健学科)	○	○	○	○		4枚	90分
医学部(医学科)及び歯学部		○	○	○	○	4枚	90分

- 6 下書きは、問題冊子の余白を使用すること。
- 7 問題冊子は、持ち帰ること。

2

多項式  $P(x) = x^{2n} - nx^{n+1} + nx^{n-1} - 1$  について、次の問いに答えよ。ただし、 $n$  は 2 以上の整数とする。

- (1)  $Q(t) = P(t+1)$  とおく。多項式  $Q(t)$  の定数項、 $t$  の係数および  $t^2$  の係数は 0 であることを示せ。
- (2)  $P(x)$  は  $(x-1)^3$  で割り切れるが、 $(x-1)^4$  では割り切れないことを示せ。
- (3) 方程式  $P(x) = 0$  の整数解は 1 および  $-1$  のみであることを示せ。

3

平行四辺形 ABCD において、辺 AB の長さを  $p$ 、辺 BC の長さを  $q$  とし、 $\theta = \angle BAD$  とおく。ただし  $p > q$  とする。平行四辺形 ABCD の内部の点 P と 4 本の直線 AB, BC, CD, DA との距離のうちで最小のものを  $r$  とする。点 P が平行四辺形 ABCD の内部を動くときの  $r$  の最大値を  $R$  とし、最大値  $R$  を与える点 P の軌跡を  $L$  とする。次の問いに答えよ。

- (1) 平行四辺形 ABCD 内に  $L$  を図示せよ。
- (2) 半径  $R$  の円の中心が  $L$  上を動くとき、円およびその内部が通過する領域の面積を  $S$  とする。 $S$  を  $p, q$  および  $\theta$  で表せ。
- (3) 平行四辺形 ABCD の面積を  $T$  とする。(2) で求めた  $S$  に対して  $\lim_{\theta \rightarrow +0} \frac{S}{T}$  を求めよ。

## 4

半径がそれぞれ  $a, b$  の円を  $C_a, C_b$  とする。  $C_a$  上に点  $A$ ,  $C_b$  上に点  $B$  をとる。はじめに 2 点  $A, B$  を一致させ、  $C_b$  を  $C_a$  に外接させながら滑らないように回転させる。ここで、点  $B$  が再び  $C_a$  上に来るときを  $C_b$  の回転の 1 周期とする。次の問いに答えよ。ただし、必要があれば、自然数  $m, n$  の最大公約数を  $\gcd(m, n)$  で表せ。

(1)  $a, b$  を自然数とする。  $C_b$  上の点  $B$  が  $C_a$  上の点  $A$  に再び一致するとき、  $C_b$  は何周期回転しているか、  $a, b$  を用いて表せ。

(2)  $a, b$  を正の有理数とし、  $a = \frac{p}{q}$ ,  $b = \frac{s}{t}$  とおく。ここで  $p, q$  は互いに素な自然数とし、  $s, t$  も互いに素な自然数とする。  $C_b$  上の点  $B$  が  $C_a$  上の点  $A$  に再び一致するとき、  $C_b$  は何周期回転しているか、  $p, q, s, t$  を用いて表せ。

(3)  $a, b$  は互いに素な自然数とする。  $k = 1, 2, \dots, a$  に対して、  $C_b$  が  $k$  周期回転したとき、点  $B$  が一致する  $C_a$  上の点を  $A_k$  とする。このとき  $\{A_1, A_2, \dots, A_a\}$  は  $C_a$  をちょうど  $a$  等分することを示せ。

**5**

$a$  は  $-2 < a < 2$  をみたす定数とし、関数  $f(x)$  を

$$f(x) = \frac{\sin x + \cos x}{1 + a \sin x \cos x}$$

とする。次の問いに答えよ。

(1)  $t = \sin x + \cos x$  とおいて、 $f(x)$  を  $t$  と  $a$  を用いて表せ。また、 $t$  のとりうる値の範囲を求めよ。

(2)  $f(x)$  の最大値、最小値を求めよ。

(3)  $a = -1$  と  $a = 1$  の場合に、 $u = \sin x - \cos x$  とおいて、置換積

分法により定積分  $\int_0^{\frac{\pi}{2}} f(x) dx$  を求めよ。